

7年度保護者アンケート集計結果及び保育所評価公表について

2月に行いました保護者アンケートを集計致しましたのでご報告いたします。アンケートの回答は85名中53名で62%の回答率でした。15項目の中で『いいえ』の回答があったのが『園の保育について、あなたの意見や意向を伝える方法または機会がありますか?』『災害や不審者対応、安全等に関わることについて整備されていると感じますか』の2項目でした。園での取り組みが全ご家庭に周知できるよう、又ご理解していただけるように次年度も計画していきたいと思っております。結果はコドモン、ホームページを通して皆様に周知したいと思っております。お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

その他保護者意見として頂戴した内容もまとめてあります。貴重なご意見ありがとうございました。改善できる点や、園として大切にしていきたい思い等をしっかりと保護者の皆様に伝わるよう日々努力していきたいと思っております。

先に行っている保育士の自己評価と今回の保護者アンケートを基にして保育所評価も行っております。合わせてご確認ください。

園長 宮里志保



保育所評価

評価項目の達成及び取組状況

項目	内容	評価
園の基本姿勢について	園の保育理念、保育目標を把握している。	A
	一人一人のありのままの姿を受け入れることができている。	A
	子どもたちが安心して毎日を過ごせるような保育園となるように努めている	A
	子どもの人権に十分配慮するとともに、一人一人の人格を尊重してかかわっている	A
	子どもたちの個人情報を適切に扱うと共に苦情等に対し、その解決を図るよう努めている	A
	業務遂行にあたって、正確・迅速、かつこまめに報告・連絡・確認を実践している	B
子どもの発達援助	健康・安全で心地よい生活の場で子どもの健康管理を実施している	A
	乳幼児にふさわしい食生活環境の工夫と食育を展開している	B
	検診・検査の結果を保護者に報告するとともに保育に反映している	A
	子ども観・発達観の理解と共有が図られ発達過程に応じた保育を実施している	A
	支援を必要とする子どもが安心して生活できる保育環境を整備している	B
	長時間にわたる保育のための環境整備や保育の内容や方法が配慮されている	B
	保育所の保育方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達を促すよう配慮している	A
	指導計画を適切に作成し、定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	A
	子どもに関する記録を適切に行っている。	A
	一人一人の子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している。	A
	各年齢の保育において、養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境を工夫している。	A
	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような環境を整えている。	A
	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるように環境を整えている。	B
	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができる環境を整えている。	B
保護者支援	子育てのパートナーとして「保護者の子育てを支援する」という役割を常に意識している。	B
	保護者の考えや提案を積極的に聞き、保育に活かしている。	B
	連絡帳やクラスノートなどで日常の子どもの様子を伝えあっている。	B
	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	A
保育基盤	緊急時(事故、感染症の発生時など)や災害が起こった時、迅速に対応できるようにしている。	B
	アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	A
	事故防止の取り組みを行う際、施設内外の環境の配慮や指導の工夫を行うなど、必要な対策を講じている	B
総合評価		A

【保育所評価 総合結果 A】

- 園内研修等を通して保育の質を高めるよう努力してきたことで子どもへの発達理解を深めることができた。
- 職員が保育を振り返り、反省評価をすることで保育環境が整ってきた。
- 災害計画を作成し、年間を通して訓練に取り入れたことで職員の意識も高まってきた。
- こどもの発達援助の面で『A』 の評価が増えてきている。昨年度の反省から意識が高まっている。

【今後取り組むべき課題】

- 災害計画を立て外部委託の下、避難訓練や災害時の環境整備について整えてきたが、保護者アンケートから災害や不審者対応、安全等に関わることに十分に周知できてないことが感じられた。園での取り組みを積極的に保護者へも伝え、安心して子どもを預けられる保育園を目指していく。
- 保育園で保護者の意見を聞き、子どもの育ちを共に考え、話し合いを深めていけるような環境づくりに取り組んでいく。
- 昨年に引き続き、保育園でこそ味わう事のできる感動体験を多く取り入れられるような環境整備を整えていく。